



解体工事とは、 未来へのスタートを切る事です



A large yellow excavator with "HDSK" written on its arm is demolishing a concrete wall. Debris is falling from the wall into a truck below.

A firefighter wearing a white helmet, black face mask, and pink ear protection, using a power tool on a wall.

A photograph showing two construction workers in safety gear performing demolition work on a concrete wall. One worker in the foreground is wearing a white hard hat with red and blue stripes and a dark jacket, looking down at the work. Another worker in the background is wearing a grey jacket, an orange hard hat, and safety glasses, using a long-handled demolition hammer to break up the wall. Debris and dust are visible around the impact point.

A close-up, low-angle shot of a diamond grinding wheel in motion. The wheel is circular and appears to be made of a dark, metallic material. It is cutting through a dark, textured surface, likely concrete or stone, which is creating a cloud of fine particles and sparks. The background is blurred, emphasizing the motion of the wheel.

A worker in a white protective suit and hard hat is using a power tool to remove asbestos from a ceiling. The background shows a brick wall and wooden joists.

いたいたいた仕事をこなしていく力と対応して実績を積んできました。こうして長年かけて得られた信頼によって大きな仕事をお任せいただけるようになつた理由だと思います。

人とのつながりやご縁を大切にしてこちらからこそ、現在のお仕事につながっているわけですね。

やはりどんな仕事でも人との付き合いは欠かせませんから、礼儀や義理人情は非常に大事ですよね。弊社は現在、150社ほどの会社さんとお取り引きさせていただいています。仕事をする中で新しいお客様との出会いもあり、最近では徐々に首都圏以外の地方での工事もご依頼いただくようになりました。そこで、ゆくゆくは全員を図れるよう推進しているんです。例えば、休憩時間にスマートフォンでゲームなどをしていると社員同士で話す機会を少なくなってしまいますよね。そこで休憩時間中もできる限り話し合って情報交換するなどの取り組みを行っています。そうすることで社内の規律はもちろん、仕事の精度や技術力の向上にもつながっています。

木長のお考えが根付いているのではないかと思います。

ここまで数多くの実績を積み上げるためには、技術的な強みはもちろん、企業としての信用や信頼性も大事ですよね。

一おっしゃる通りですね。私はこの会社を設立する以前、職人として現場で解体業に携わっていました。その頃に知り合った同年代の職人仲間や建設会社の方々とはもう10年以上の付き合いです。現在でも交流が続いているんですよ。そんな彼らも経験を積み、今ではそれぞれの会社で事業の中心を担う立場になつてている者も多いですね。そのようなつながりもあってご依頼

一確かに建設業界では珍しいかもしさせん。ただ、私はこの業界で働く若い世代の社員たちにも、将来に希望を持つてもいいないと考えています。例えば、家を建てたり車を買ったりする際にも、ある程度の信用がなければなかなかローンが組めません。社会保険や社内の制度をしっかりと整備し、会社自体のブランド力をつけねばなりません。

それは建設業界の中では珍しいのです。建設業の職人さんなどと日給制というイメージがありました。

厚い信頼と実績を誇る総合的な解体工事会社

それほどの工事を多数手がけられる御社の強みは何でしょうか？

一番の強みは、総合的な解体工事が行えることでしょうか。解体工事には、コンクリートの床や壁を手作業ではがす研り（はり）工事や、重機を使った工事、内装の解体工事などさまざまな種類があり、一般的な解体業者は、それぞれの工事を専門的に行っているんです。しかし、弊社では多様な事業者も一般的な会社と同じであると示す

モラルを重んじることは、人とのつながりやご縁にも深くかかわってくると思います。相手に誠実さを伝えることで、つながりもより強固なものになるでしょうからね。

一ええ、私もそう思います。また、社会的な信用を得るためにも、弊社のような解体工事業者も一般的な会社と同じであると示す

最後に、佐々木会長が目指す、これからのお目標についても教えてください。

が大事だと考えています。

解体工事業を営む株式会社DSKさんは、高層ビルや公共施設など、大規模な工事を多く手がけておられるそうですね。

－はい。おかげさまで、これまで多數の工事を担当させていただきました。最近ですと、ビルの解体工事をメインで担当させていただいている。また、過去には「コン

－最も大切なのはモラルを重視し、ルールを遵守することですね。最近では改善されてきたとはいえ、建設業界は昔からいわゆる3Kや、怖い職人が多そうといった、ネガティブなイメージがまだまだ一般に根強くあります。

－ありがとうございます。私をはじめとした役員や事業の中核を担う社員たちの年代は、いわばミドル層です。社員の年代は

大切にしておられることがあれば教えてください。

時間を使ってコミュニケーションを積極的に図る取り組みは、すごく良いなと思いました。社員同士のチームワークの良さにもつながりますね。

千葉県市川市を拠点に、解体工事業を営む株式会社DSK（「ディーエスケー」）。これまで都内を中心として、大規模な建物の解体工事を多数手がけてきた。そんな同社を率いる代表取締役会長の佐々木雄太氏が、最も大切にしているのがモラルを重んじることであるという。規律を遵守し誠実さを示すことで、顧客からの厚い信頼につながると語る佐々木会長に、その仕事観と社員同士のチームワークや社内の体制づくりについて詳しく聞いた。



株式会社DSK
代表取締役会長
佐々木 雄太

**株式会社DSK
TEL.047-318-9**

〒272-0013 千葉県市川市高谷2-21-40

千葉県知事許可(般-2)第50241号 とび・土工工事業 解体工事業



公式HP

YouTube

【代表プロフィール】千葉県出身。学業修了後、料理人として働いたのち、解体工事の世界に飛び込む。いくつかの解体工事会社で約7年間、職人として数多くの経験を積み、個人事業主として独立する。2015年に事業を法人化し、(株)DSKを設立した。社会保険を導入するなど、社内制度づくりに注力。現在は、代表取締役会長として会社経営を行い、大規模な解体工事を多数手がけている。